「かごしま近代化遺産調査事業」

久慈白糖工場跡 現地説明会

くじはくとうこうじょうあと

南海の集成館プロジェクト

～若きアイルランド人技師の挑戦～

トーマス・J・ウォートルス

Harper,Robert Lee,Colorado mines
Denver:Carson,Hurst&Harper,art printers,c.1891

「耐火レンガ」

「小学校跡の白糖石」

現在の久慈白糖工場跡

平成 28 年 10 月 22 日（土）

受付時間 **10：00～11：30，13：00～14：30**

※ 小雨決行（荒天中止），申込不要

※ 駐車場は，久慈漁港周辺（和喜公園横）になります。

久慈白糖工場は，薩摩藩による「集成館事業」の一環として，奄美大島に４か所建設された施設の一つです。後に東京の銀座煉瓦街を建設したアイルランド人技師・ウォートルスを迎え，幕末当時，世界最先端の技術で設計されました。わが国における近代的製糖の始まりとされる，この記念碑的遺産の発掘調査成果を公開します。

問い合わせ先

■ 鹿児島県立埋蔵文化財センター（当日まで）
0995－48－5811

■ 久慈白糖工場跡発掘調査事務所（当日）
080-8358-2216

現地説明会会場案内図

《会場住所》
大島郡瀬戸内町久慈